

これか... 介護と正面から向き合い、介護地域に陥らない方法を、みんな考えてきた。

小脳変性症という進行性の難病にかかったおじいちゃん、26年間かかっていた。おじいちゃんが70歳のとき、「やがては、話すことも、立って歩くこともできな

介護の



「諏訪中央病院併設の介護老人保健施設に、小学校の同級生が新鮮な魚を送ってくれた。近くのおすし屋さんでポランテニアで1000個近くのすしを握ってくれた。幸せな一日だった(中央が筆者)

来週は「支えたい 介護の現場から」「がん私」です

この国の新しいリーダーに期待する。11月11日、東京・渋谷のシタックスホールで開催する介護の日記念セミナーで、鎌田が講演をします。問い合わせは、03・3541・6262へ。
(かまた・みのる＝長野・諏訪中央病院名誉院長)
(次回は11月16日です)

6歳前の長男 毎晩おねしょ



もうすぐ6歳の長男が毎晩おねしょをします。本人は朝まで熟睡しています。日中の排せつは全く問題ありません。3歳の頃、きつくしかったことがあり、それが影響しているのでしょうか。(群馬・32歳母)

荻原 大

スマイルこどもクリニック

(横浜市)

「日中の排尿や排便は問題なく、また、おねしょをした後にも熟睡し続ける」ということは、夜尿症のお子さんの大半にみられます。主な原因として、①作られる尿の量が多い②膀胱の容積が小さい③などが挙げられます。質問にある「3歳の頃にしかかった」という

や体重の増加、言葉や運動の発達などと同様に、おねしょを失くなる時期にもかなりの個人差があります。6歳頃は、まだ1割以上のお子さんがおねしょをしています。

個人差の範囲 しっかりと焦らず

のはあまり関係ないと思います。

おねしょは、お子さんが悪い訳ではありませんし、焦って改善するものでもありません。

成長とともに膀胱の容積は大きくなりますし、尿を濃くして量を減らす「抗利尿ホルモン」もきちんと働くようになります。

夜間に起こすことは、抗利尿ホルモンの分泌を低下させて、かえっておねしょを悪化させてしまう恐れがあります。宿泊行事などの時にはやむを得ませんが、基本的には夜間に起こすべきではありません。

お母さんとはかく、「しからない」「焦らない」「夜、起こさない」ことです。心配ならば、夜尿症を専門とする医師を受診してみましよう。

からだの質問箱

膠原病の疑い 妊娠・出産に問題は



5年前の妊娠時に膠原病の疑いがあることがわかりました。出産後、膠原病の症状は落ち着いていますが、現在、2人目を考えていますが、注意する点などはありますか。(埼玉・32歳母)

杉 俊隆

東海大病院 産婦人科准教授

(神奈川県伊勢原市)

膠原病の人が妊娠した場合は、妊娠初期に流産したり、妊娠中・後期に子宮内で胎児が死亡したりしやすいと言われています。

その理由は、膠原病になると、「抗リン脂質抗体」という抗体を持つ割合が高まるからです。抗リン脂質抗体は、胎盤に血栓(血液

の塊)を作って、流産や胎児死亡を引き起こすと言われています。

そこで、妊娠する前に、抗リン脂質抗体があるかどうかの検査をすることを勧めます。

抗リン脂質抗体の検査陰性であれば、膠原病の症状は落ち着いているようすから、必ずしも妊娠に

けて何か治療をする必要はないと思います。

抗リン脂質抗体が陽性で、「抗リン脂質抗体

くらし健康

- 【COPDのチェックポイント】
- ▽おおむね40歳代以降である
- ▽自分や他人のたばこの煙、などで汚れた空気を10年以上続けた。
- ▽風邪でもないのに、たんがよくなせきが続く。
- ▽風邪をひきやすく、長引く
- ▽同世代の人と坂道や階段をで上っていると、息切れが